※令和４年度以降入学生用

学校番号	329

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）生活文化	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業では衣生活を中心に、実践的・体験的な学習を通して学びを深めていく。実習では一つ一つの作業の意味を科学的にとらえ、理解しながら基礎的な技術の習得を目指す。
衣服の機能や特徴など衣生活分野の知識を身につけるだけでなく、
消費生活とのかかわりなど分野横断的授業を行い、日常生活をよりよくする力を養う。
ICT 機器の活用で個々の作業ペースに応じた学習を行い、生徒の意欲や思考力を養う。

2　学習の到達目標

衣生活を中心とした生活文化に関する知識と技術を習得し、実践的・体験的な学習活動を通して、生活を総合的に捉える力を養う。
被服製作や衣服の管理に関する基礎的・基本的な技能を身につけるとともに、衣生活と環境・消費との関りについて理解を深め、主体的に生活を工夫し創造しようとする態度を育成する。生活文化の継承についても理解し、自らの生活をより豊かにしようとする能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	衣生活などに関する基礎的な知識を総合的に捉え、理解するとともに、手縫いやミシン操作等の被服製作にかかわる基本的な技能を身につけている。	生涯を見通して、衣生活などに関する課題を見出し、生活をよりよくするための解決策を構想し､実践を評価･改善し､考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	衣生活などに関心を持ち、実習や学習活動に主体的・協働的に取り組んでおり、振り返って改善したりして、生活をよりよくするために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ミシン縫いの基礎	・ミシンの名称 ・上糸のかけ方 ・下糸のかけ方 ・ボビンの作り方 ・ルレットの使い方 ・実技テスト ・自己評価シート	a:上糸、下糸を正しく取り付け、ミシンを正しく扱うことや、ルレトの使いかたなど、被服製作にかかわる基本的な技術が身についている。 b:ミシンのトラブルについて解決策を構想し、解決するための力を身につけている。 c:よりよいミシンの使い方について主体的に振り返り、改善するために実践しようとする。	小テスト 実技テスト	実技テスト	自己評価シート
	ハーフパンツの作製	・型紙作成 ・ハーフパンツの制作	a:和服との違いを理解し、型紙を作成するために必要な知識を身につけている。 制作に必要知識を身につけハーフパンツ制作に必要な技能を身につけている。 b:制作過程をイメージし、先を見通し実践する力が身につき振り返り、改善に向けて表現している。 c: 被服の機能、文化、着装、被服管理について関心をもち、実生活で活用しようとする意欲を持って学習に取り組んでいる。	成果物	成果物	自己評価シート
2	手縫いの基礎	基礎縫いbookの作製	a:基礎的な手縫いの種類を理解している。 b:基礎的な手縫いの種類を用いて、日常生活の中で行える衣服の修理などに応用する力が身についている。 c: 実習を主体的に取り組み、工夫して制作に実践しようとする。	成果物	成果物	実習態度の観察

※令和４年度以降入学生用

	刺繍ポーチの制作	・クロスステッチ	a:図案作成教材を用いて、自らで図案を作成する技術を身につけている。 b:図案を確認しながら実践を評価・改善し、製作を進める力が身についている。 c:刺繍に興味を持ち、主体的に取り組んでいる。制作過程の中で振り返りを行い主体的に工夫する力身についている。	成果物	成果物 振り返りシート	自己評価シート
		・ポーチ制作	a:ファスナーの取り付け方法や、ポーチなど立体物の制作に関する知識を身につけている。 b: 制作過程をイメージし、先を見通し実践する力が身につき振り返り、改善に向けて表現している。 c: 実習を主体的に取り組み、工夫して制作に実践しようとする。			
3	かぎ針編みの基本	・ストラップ制作	a:長編み、くさり編み、などの基礎的な編み方の技術を身につけている。 b: 図案を確認しながら実践を評価・改善し、製作を進める力が身についている。 c: 編み物に興味を持ち、主体的に取り組んでいる。制作過程の中で振り返りを行い主体的に工夫する力身についている。	成果物	成果物	実習態度の観察
		・モチーフの作製	a:図案の記号を理解し読む力を身につけている。 b: 図案を確認しながら実践を評価・改善し、製作を進める力が身についている。 c: 編み物に興味を持ち、主体的に取り組んでいる。制作過程の中で振り返りを行い主体的に工夫する力身についている。	成果物	成果物	実習態度の観察

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度